

平成28年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府  
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コース B 日程入学試験

# 刑事系科目

時間 11:00～12:15

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあったら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で3枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～3の3つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、75分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の3問、**問題1**から**問題3**にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

### 問題1

公的な資金の融資目的で特別法に基づいて設立された法人甲の代表者たる理事長乙が、その融資目的に反して相手方丙のために不正に融資した場合の乙と丙の罪責について、裁判例の考え方を中心に、考えられうる論点を示して説明しなさい。特別法上の罪責については論じなくてよい。

### 問題2

X女(19歳)は、自宅内において、その実子A女(2歳)が、夜中泣き止まないことに腹を立てた内縁の夫B(28歳)が、Aを逆さ吊りにして激しく揺さぶるなどし、心中では「やめて欲しい」と思ったものの、それを制止すれば、今度は自分にも暴行が加えられることを恐れ、BがAに暴行するのをそのままにしていた。

その結果、Aがぐったりして動かなくなったのをみたBは、「俺はネットカフェで寝るから」と言い残して立ち去った。Bが立ち去ってから直ぐに救急医療を要請していれば、Aの生命が助かる見込みが90パーセント程度あったのに、前科があるBの暴行が明るみになってはまずいと思い、Xはそのまま放置した。Bがその場を立ち去ったのち、3時間後、Aは死亡した。

この場合のXの罪責を論じなさい。関連する裁判例にも言及すること。刑法以外の特別法については触れなくてよい。

### 問題3

いわゆる別件逮捕勾留に関し、別件基準説と本件基準説が対立してきたとされるが、それぞれについて説明しなさい。